



LGBTへの理解を深める

ひらいずみ共同参画の集い

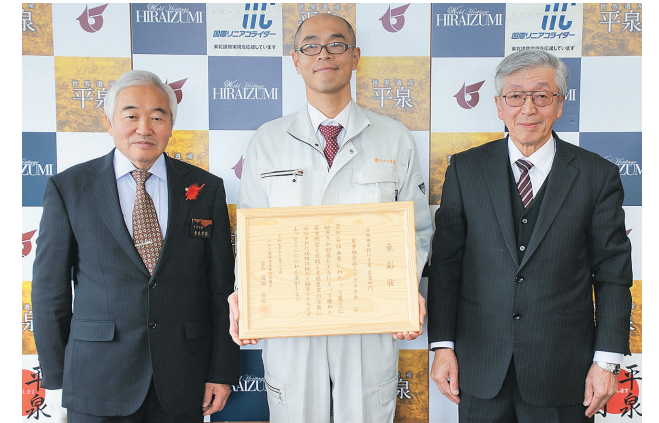
「第1回ひらいずみ共同参画の集い」(平泉男女共同参画サポーターの会主催)が1月11日、町役場で開かれました。町内の各女性団体などから約70人が参加。講師の弘前大学男女共同参画推進室専任担当教員の山下梓さんが、「新たな気づきを感じてみませんか～LGBTの視点から考える～」と題して講演しました。参加者は性的少数者(LGBT)への理解と、尊重しながら生活するために必要な方策などについて考えました。



地域の活性化を推進

いわて農林水産振興協議会会長表彰受賞

農事組合法人アグリ平泉が、12月20日に盛岡市民文化ホールで開かれた「令和元年度いわて農林水産躍進大会」において、いわて農林水産振興協議会会長表彰「意欲ある担い手賞」を受賞しました。平成18年の設立以降、大区画ほ場での麦、大豆、飼料用米の生産のほか、農産加工品直売施設の指定管理者、直営のパン店、ワイナリーの経営による6次産業化の取り組み、さらには、田んぼアートなどのイベントを定期的に開催し、地域の活性化を推進していることなどが認められました。



産金の歴史と活用を考える

日本遺産シンポジウム

日本遺産シンポジウム「みちのく GOLD 浪漫」を知る in 平泉町(日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」推進協議会主催)が1月11日、平泉文化遺産センターで開かれ、約100人が参加しました。地域ビジネスの国際化支援に取り組むケッブルヘンリー・ウェスリーさん、宮城県涌谷町生涯学習課の福山宗志さん、平泉文化遺産センターの千葉信胤館長をパネリストに迎え、みちのくの産金の歴史やこれからの活用について意見を交わし、参加者は日本遺産の価値と魅力への理解を深めました。



新年の門出を祝う

平泉町新年交賀会

町、町議会、平泉商工会、JAいわて平泉が主催する「平泉町新年交賀会」が1月7日、平泉レストハウスで開かれました。会には来賓や各団体の代表者、区長や町民ら約270人が出席しました。青木町長と佐藤町議会議長が主催者を代表してあいさつ、岩淵誠県議、高橋昭雄県南広域振興局副局長がそれぞれ祝辞を寄せました。

参加者は楽しみながら杯を交わし、新年の門出を祝うとともに、さらなる町勢発展を誓い合いました。



高校生からの意見を募る

高校生会議

町内在住の高校生が今後のまちづくりの在り方について意見交換する高校生会議が1月11日、町役場で開かれました。この会議は将来の町を担う高校生の意見を新町総合計画に反映させるために、町が初めて企画したもので、会議には生徒5人と補助役として町協働のまちづくりサポーター6人が参加。いちのせき市民活動センターの小野寺浩樹センター長を進行役に「平泉のスローガンを考える」と題したワークショップを行い、意見を交わしました。



児童生徒の健全育成に努める

平泉中PTAが県PTA連合会団体表彰受賞

令和元年度の県PTA連合会団体表彰に平泉中学校PTAが選ばれ、岩淵良久PTA会長と八木稔和副校長が1月8日、岩淵教育長を訪問し、受賞を報告しました。平泉中PTAでは、保護者、学校、地域、行政が連携して取り組む「郷土・平泉学」の学習や、各家庭で情報メディアの使用ルールを決めて実践する「日9ノーメディア運動」の活動が評価されました。岩淵会長は「今後も将来を担う子どもたちの人づくりを支えていけるよう、PTA全員で協力して活動していきたい」と話していました。



長寿の祝福に笑顔で応える

川井愛子さんが百寿を迎える

特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘で生活する川井愛子さんが1月21日、満100歳の誕生日を迎えました。施設を訪れた青木町長が花束と記念品となる秀衡塗の漆器を贈呈し、施設からも祝いの花が贈られました。

性格は常に朗らかで、笑うことが多いという川井さん。普段は機嫌がいいと歌や踊りなどを楽しんでいるそうです。川井さんは集まった親族らのたくさんの祝福に、満面の笑顔で応えていました。



強い決意を持って活動する

交通指導隊初点検

町交通指導隊(千葉慶信隊長)の令和2年初点検が1月11日、役場庁舎前で行われました。

初点検には隊員8人が参加。千葉隊長らによる装備品の点検では、整列した隊員の警笛や手帳のほか服装の確認を行いました。また決意表明では、千葉隊長が「今年は例年より多くの来町者が見込まれる。世界遺産のまちとして誇りを持ち、隊員一人一人が強い決意を持って活動する」と、町民や町を訪れる観光客の安全確保を誓いました。

